

# 前期後半が始まりました!

1000人の心を  
そろえる

16日間の短い夏休みがあっという間に終わり、前期後半が始まり、既に2週目となりました。8月24日(月)1校時には、今年度当たり前になったリモート集会を行いました。8名の転入生の紹介の後、2つの話をしました。

1つめ。「この集会も月曜朝の歌声タイムも同じ場所に集まることはできないけれど、同じ目標に向かって、

1000人の心をそろえて行動することはできるはず。」初日の歌声タイムは校歌でしたが、いつもは、いろんな教室から聞こえてくる、気持ちのよい歌声が、ほとんど聞こえず・・・トホホな歌声でした。歌詞を覚えていなかったり夏休み明けだったからでしょう。運動会も近いので、「1000人の心をそろえる」ことをがんばりたいものです。そのためには、「職員の心がそろっていることが大切」と、いつも先生たちには話しています。

安心してすごせるよう  
○自分ができるところ  
○自分がしなければならないことをする

2つめ。「学校で安心して過ごすためには、自分ができることをする。自分がしなければならないことをする。」例えば、マスクをすることか、朝から熱を測ってくるとか、ソーシャルディスタンスを保つとか・・・。「小学生だって、安心して過ごせるよう、できることがある。小学生でもしなければならないことがある。」ということです。

子どもたちにとって、新しい生活様式は当たり前のことになりました。みんなで自分のこと、周りの人のことを考えながら、安心して過ごせる学校を創っていききたいものです。

# 菊陽西小だより

9月

NO.17  
R 2. 9. 1  
菊陽西小学校  
文責：草場ルミ子

リモート集会後半は、そろえよう菊西 2020から、「そろえよう菊西 学習編」は穂田先生から、「そろえよう菊西 生活編」は宮地先生から、お話がありました。

## そろえよう菊西 ~学習編~

- ★休み時間になる前に、次の時間の教科書・ノート・鉛筆を出しておきましょう。
- ★休み時間が終わったら、席について黙想から授業を始めましょう。
- ★夏休み中、先生たちもチームに分かれて、「こんなこと1000人でそろえていけたら、子どもたちに力がつくよね!」といったようなアイディアを出し合いました。



★右は、全教室で取り組む話の聞き方を示しています。



★左は、4年生以上の自主学習のお手本になる取組を掲示したものです。

1000人の菊西小の子どもたち全員が、上記のことをがんばって、力をつけることができたらいいな!先生たちも、力を合わせて、がんばりますよ!

## そろえよう菊西 ~生活編~



- ★名札をつける!  
名前を呼んでほめることができるよ。
- ★帽子をかぶる!  
まだまだ暑い。熱中症対策です。
- ★靴箱のかかとをそろえる!  
気持ちよい生活の始まり。
- ★トイレのリップを並べる!  
2秒でできるスリッパ並べ。

私の経験上、「靴箱のかかとがそろうこと」と「教室の落ち着いた授業態度」には相関があります。「落ち着いた日常を過ごすこと」は、「安心した生活が送れていること」です。上の4つのこと1000人の心をそろえ、がんばっていきましょう!

コロナ禍は、私たちがこれまで当たり前だと思っていた、いろいろな物事の大切さや価値に改めて気づかせてくれました。つらい状況に置かれると、人は、不平不満の思いにかられ、それを他人や社会のせいにしてがちです。できないなりに、その中で、精一杯の工夫をすることが大事だと思えます。「何かをしてもうただけでなく、自分を見つめ直し、他者への思いやりをもって、自律的に今を生きたいものである。平和で安心な社会は、ひたすら望むものではなく、人々の自覚でつくり上げられている。自らできることもある。自らすすむこともある。」と新聞で読みました。まさに、学校生活もその通りです。「あのときは、コロナで大変だったけど、みんなががんばったね!」と数年後、笑って言える日が来ることを信じて、みんなで乗り越えましょう。

新型コロナウイルス感染症に関して、文部科学大臣から、児童や保護者に対して、メッセージが届いています。本日配付していますので、是非お読みください。

